

講習会の目的

共同分担入力方式のデータベースの質を左右するのは、実際にデータ入力を担当している人材である。NACSIS-CAT/ILL講習会はその目録業務（もしくは相互利用業務）の担当者が、総合目録データベースの構成、内容、データ登録の考え方を正しく理解することを目的とし、受講者のスキルアップのみならず、NACSIS-CAT/ILLの課題となっている総合目録データベースの品質を向上させることが目標である。

NACSIS-CAT/ILL講習会は基本的に初心者対象である。従って、講習会カリキュラムの構成は基本理念から始まり、コースの最後には一応の操作ができるようになるように編まれている。ただし、この講習会を受講すればすべての操作ができるようになるといったことを目標としているのではなく、考え方を身につけ、一応の流れを知った上で、何を参照すればよいかの判断ができるようになることが到達目標である。各コースとも付録に参照すべきマニュアルからの抜粋が掲載されており、講習会中は適宜利用する。講義と実習を交互に行うことで、受講者自身が問題や疑問を解決しつつ進んで行く形をとる。

職場では実務的なノウハウを教えてもらうことはあっても、総合目録データベースの構成や仕組みについて学ぶ機会は少ないと思われる。殊に検索においては、それらを理解することが精度を左右する。検索が不十分であると重複書誌作成や間違った書誌修正が生じる恐れがあることから、データベースの構造や検索の仕組みを学ぶことにより、これらの誤りをなくすことがこのカリキュラムの大きなポイントである。

平成19年度から一部セルフラーニング教材（以下SL教材）を導入し、平成20年度からは参加する条件として、SL教材で各自事前学習することを義務づけ、平成21年度からは、①「職場でのセルフラーニング」と②「講習会場での集合研修」の両方を講習会の課程として位置づけた。その後、SL教材で学習できる範囲が広がることによって、①と②をどのように組み合わせるかは、各会場の事情にあわせ自由に選択できるようになった。平成27年度のカリキュラムでは、「所蔵登録」を事前学習で行うパターンを示すが、その他にも①によって生まれる時間を使って、課題解決型学習(PBL)や協同学習を取り入れるなど、会場ごとの工夫が可能となってくる。

前提（受講対象者）

主となる受講対象は、新任若しくは経験の浅い目録業務担当者である。受講者は目録所在情報サービスの参加機関に所属、もしくは業者等所属の非常勤職員（嘱託、派遣、入力業務請負業者等）で、実際に雑誌目録業務を担当、もしくは6ヶ月以内に担当することを予定している職員という条件で参加している。

この講習会は目録システム講習会であり、目録規則等の内容について踏み込んだ解説を目的とするものではなく、受講者は基本的には目録業務および目録規則の概要を理解しており、規則を適宜、関連資料から参照できることが前提である。しかし、当然のことながらシステム・記述文法を学習しただけでは、初心者である受講者は課題の記述に戸惑うことも多い。このことをふまえつつ、講師はテキストに従って講義し、講師補助には個々の受講者のレベルに応じた指導が望まれる。

概要

<カリキュラム全体>

平成17年12月から平成19年3月の期間、「目録所在情報サービスを対象とする講習会等に関する検討ワーキンググループ」が設置され、そこでの検討結果を受け、下記の2点を実施することとした。

● SL教材・事前学習修得テスト

ウェブ上から自学自習できる教材である。「目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)とは」「目録システム(NACSIS-CAT)入門」「目録情報の基準. 雑誌編」「目録検索」「雑誌登録総論」「雑誌所蔵登録」「雑誌書誌登録」からなっている。

受講者はこれらを講習会の集合研修前に必ず自習し、修得テストで一定の点数(100点満点中75点以上正解で合格)をとれるようになっていることが必須条件になっている。(→SL教材と、修得テストの概要を参照のこと。) 講師担当者は事前に内容を確認しておくことが望ましい。

※「雑誌書誌登録」(平成26年度2月に新規公開)については、集合研修中のカリキュラムに内容が含まれているため受講者の事前学習は任意である。

● セルフチェックテスト

受講者自身が講義内容の理解度を確認することを目的とし、その成績で受講者を評価するためのものではない。平成18年8月から実施され、受講者アンケートでは概ね好評であった。

セルフチェックテストは2回行う。各テストは2日間コースカリキュラムの1日分を範囲として作成されている。多くの受講者が間違えた問題について、重点的に復習するための解説時間を設けている。

平成 27 年度 目録システム講習会（雑誌）講義要領 0

<カリキュラム日程>

講習会のカリキュラムは標準カリキュラム①と、それをアレンジした例②があり、各開催機関で選択することが可能である。①は最小限のモデルコースであり、各講義項目において標準カリキュラムで行っている時間数を満たせば、アレンジして行ってもよい。

	日数	第1日	第2日	第3日
①	2日間	9:30-17:30	9:30-17:15	
②	2.5日間	13:00-(17:00~ 17:45)	(9:00~10:00) - (17:00~17:45)	

2日間の場合も2.5日間の場合も同じ課程

【2日間コースのねらい】

- 参加のための業務への負担が減るため、より参加しやすい状況になる。
- 所蔵登録のコマが職場でのセルフラーニングになったので、講習の密度としては従来通り。

【2.5日間コースのねらい】

- 実習や解説等の余裕ができる。
- 2日コースと同じ時間配分のカリキュラムを参考として示す。この例では、3日目の午後を課題解決型、協同学習型の研修を行うことも可能である。
- 所蔵登録を講習会内で行うこともできるように、課題集には所蔵登録課題も残している。（ただし、この課題はSL教材の3章と同じ課題。）

➡ セルフラーニングで学習する内容に関して

第1講～第2講と第4講は講習会中に適宜復習確認を行う。

第3講(目録検索)は実習および復習を行う。

第5講(所蔵登録)については、第6講(書誌登録)と第7講(書誌修正)の課題に所蔵登録の実習・解説を加えた。

この講義要領ではテキストの参照箇所を緑矢印で示すが、復習なので必須ではない。

SL教材の概要

「目録所在情報サービス(NACSIS-CAT/ILL)とは」の構成と学習目標

節項	内容	学習目標
1節 学術情報と図書館		
1項	学術情報の相互利用とは	1.学術情報を共有し相互利用することの必要性が説明できる. 2.目録, 総合目録, 総合目録データベース, 目録所在情報サービスとは何か区別できる. 3.目録所在情報サービスの有用性が説明できる.
2項	目録所在情報サービスとは	
3項	目録所在情報サービスの利用状況	
4項	クイズ	
2節 サービスとシステムを知ろう		
1項	NACSIS-CATについて	1.目録所在情報サービスの構成要素と, 活用状況を説明できる. 2.NACSIS-CATとは何か, その特徴と共に説明できる. 3.NACSIS-ILLとは何か, その利点と共に説明できる. 4.自分の業務との関連を説明できる.
2項	NACSIS-ILLについて	
3項	Webcat/Webcat Plusとは	
4項	OPACとの関係	
5項	数値で見る活用状況	
6項	クイズ	

平成 27 年度 目録システム講習会（雑誌）講義要領 0

「目録システム(NACSIS-CAT)入門」の構成と学習目標

節項	内容	学習目標
1節 NACSIS-CATとは		
1項	NACSIS-CATの特徴	1.NACSIS-CATの特徴が説明できる。 2.共同分担方式によってレコードの品質が維持されていることを示すことができる。
2項	データベース維持のための注意点	
3項	クイズ	
2節 総合目録データベースの構造		
1項	全体構成	1.総合目録データベースを構成するファイルを説明できる。 2.それぞれのファイルの役割と、含まれる主な項目を説明できる。
2項	ファイルとレコード	
3項	クイズ	
3節 図書に関するレコードとリンク(雑誌コースでは学習しない)		
4節 雑誌に関するレコードとリンク		
1項	雑誌に関するファイルとレコード	1.雑誌に関するファイルとレコードについて説明できる。 2.雑誌に関するレコード間の関係が説明できる。
2項	レコード間の関係	
3項	クイズ	
5節 データの登録		
1項	総合目録データベースに対する基本操作	1.データ登録の基本的手順が説明できる。 2.書誌レコードの検索から所蔵登録までの作業の意味が説明できる。 3.書誌レコードを作成する際の作業を説明できる。 4.総合目録データベースにおける参照ファイルの意味が説明できる。
2項	検索	
3項	データ登録	
4項	参照ファイルとは	
5項	まとめ	
6項	クイズ	
付録 関連マニュアル		
まとめクイズ		

平成 27 年度 目録システム講習会（雑誌）講義要領 0

「目録情報の基準. 雑誌編」の構成と学習目標

節項	内容	学習目標
第1章 『目録情報の基準』とレコードの特性		
1節 『目録情報の基準』とは		
1項	『目録情報の基準』が必要なわけ	1.『目録情報の基準』の必要性を説明できる.
2項	目録規則と『目録情報の基準』の関係	2.目録規則と『目録情報の基準』の関係を説明できる. 3.目録業務の作業において参照すべき主なツールを理解する.
3項	クイズ	
2節 レコードの特性		
1項	共有データと固有データ	1.共有データと固有データを区別できる.
2項	共有データと固有データの扱い方	2.共有データと固有データそれぞれを正しく扱うことができる.
3項	クイズ	
第2章 書誌レコードについて		
1節 書誌レコードの基礎知識		
1項	図書と雑誌	1.図書と雑誌を区別できる.
2項	和資料と洋資料の扱い	2.雑誌書誌の和洋の扱いを含め、準拠する目録規則を示すことができる.
3項	準拠する目録規則	
4項	データベース内の書誌レコード例	3.データベース内のデータと書誌情報の関係を説明できる.
5項	データ記述時のルール	4.データ記述時の基本的なルールを説明できる.
6項	フィールドの分類	
7項	クイズ	

2節 書誌レコードの作成単位		
1項	基本の考え方	1.基本的な書誌レコード作成単位を判断できる。 2.タイトル変遷をNACSIS-CATではどのように表現されるか理解する。 3.書誌レコード作成の際に基準とする号を判断できる。
2項	タイトル変遷	
3項	基準とする号	
4項	補足(書誌レコード作成・修正, 変遷の報告)	
5項	クイズ	
第3章 典拠レコードについて		
1節 典拠ファイルとレコード		
1項	典拠ファイルの目的と位置付け	1.典拠レコードの目的を理解する。
2項	準拠する目録規則	2.典拠レコードの作成単位を判断できる。
3項	典拠レコードのデータ内容	3.典拠レコードのフィールドとリンク関係を知って, 典拠レコードを活用できるようになる。
4項	典拠レコードの作成単位	
5項	著者名典拠レコードからのリンク参照	
6項	クイズ	
第4章 所蔵レコードについて		
1節 所蔵ファイルとレコード		
1項	所蔵ファイルの構成	1.所蔵レコードのデータ項目を説明できるようになる。 2.所蔵レコードの作成単位を説明できるようになる。 3.雑誌所蔵レコードの記入方式を理解する。
2項	所蔵レコードのデータ項目	
3項	所蔵レコードの作成単位	
4項	雑誌所蔵レコードの記入方式	
5項	クイズ	
まとめクイズ		

平成 27 年度 目録システム講習会（雑誌）講義要領 0

「目録検索」の構成と学習目標

節項	内容	学習目標
第1章 目録検索プレテスト		
第2章 検索の目的と種類		
1節 検索の目的		
1項	検索の目的	1.検索の目的と重要性を理解する.
2項	検索のタイミング	2.検索の適切なタイミングを理解する.
2節 検索の種類		
1項	検索(ファイル検索)	1.検索キーを使ったファイル検索を理解する.
2項	リンク参照	2.リンクをたどるリンク参照を理解する.
3節 検索対象ファイル		
1項	検索順序の原則と検索対象ファイルの設定	1.検索対象ファイルの検索順序の原則を理解する. 2.検索対象ファイルの設定を理解する.
第3章 検索の実際(図書)(雑誌コースでは学習しない)		
第4章 検索の実際(雑誌)		
1節 ファイル検索		
1項	ヨミによる書誌検索	1.色々な検索キーを使った(ファイル)検索を理解する. 2.検索キーによる検索結果の違いを理解する.
2項	漢字単語による書誌検索	
3項	表記形による書誌検索	
2節 リンク参照		
1項	所蔵リンク参照	1.各種リンク参照の機能と操作を理解する.
2項	著者名リンク参照	
3項	タイトル変遷リンク参照	
3節 雑誌書誌レコードの同定		
1項	雑誌書誌レコードの同定基準	1.雑誌書誌レコードの同定の仕方を理解する.

第5章 検索の仕組み		
1節 検索用インデクスの作成		
1項	レコードデータ記述	1.レコードデータ記述と検索用インデクスの関係を理解する. 2.検索用インデクスの正規化処理を理解する.
2項	検索用インデクス	
3項	正規化処理	
2節 検索キーの自由度		
1項	検索キーと検索用インデクスの照合	1.検索キーと検索用インデクスの照合について理解する. 2.検索キーの自由度について理解する.
2項	検索キーの正規化	
3節 ストップワードとデリミタ		
1項	ストップワード	1.ストップワードについて理解する.
2項	デリミタ	2.デリミタについて理解する.
4節 検索上の注意点		
1項	ISBN/ISSNでの検索	1.その他, 検索上の注意点を理解する.
2項	タイトルでの検索	
3項	責任表示での検索	
4項	論理積	

平成 27 年度 目録システム講習会（雑誌）講義要領 0

「登録総論」の構成と学習目標

節項	内容	学習目標
1節 所蔵登録と書誌登録		
1項	共有レコードと参加館固有のレコード	1. 総合目録データベースに求めるレコードが「あればそれを用い、なければ新規にレコードを作成する」の意味を理解する。 2. 所蔵登録, 書誌修正, 書誌作成はどのような場合に行う操作か説明できる。 3. 書誌レコードと所蔵レコードの巻次年月次の関係を説明できる。
2項	登録のパターン	
3項	具体的な注意点	
2節 リンク形成		
1項	リンク形成の方法	1. 書誌登録とリンク形成の関係が説明できる。 2. リンクの種類と, 必須かどうかの違いを説明できる。
2項	リンク形成の種類	
3項	書誌入力とリンク形成の具体例	
クイズ		

平成 27 年度 目録システム講習会（雑誌）講義要領 0

「雑誌所蔵登録」の構成と学習目標

節項	内容	学習目標
1章 所蔵レコードの基本		
1節	雑誌所蔵レコードの役割	雑誌所蔵レコードの考え方について説明できる。 (ILL等, 利用する側の立場でどのような機能が必要かを考え, 雑誌所蔵情報を正しく入力する必要性を理解する.)
2節	雑誌所蔵情報の機能要件	
3節	雑誌所蔵レコードの入力項目と作成単位	これまでの教材で学習した内容をふまえ, どのように雑誌の所蔵レコードを記入するかを学ぶ. また, 雑誌特有の順序付けの考え方を理解する.
4節	所蔵データの記入法	所蔵レコードの主な入力項目 (HLYR, HLV, CONT) の記入方法について理解する.
2章 所蔵登録の流れ		
1節	所蔵登録(新規)	雑誌所蔵登録の操作についての流れを理解する。 (説明の画面例はWebUIPIによる.)
2節	所蔵登録(修正)	
3節	所蔵登録(巻次変更)	
4節	所蔵削除	
3章 所蔵登録課題		
	課題1～課題15	いろいろなケースの所蔵レコード記入法と, 操作の流れを理解する。(書誌同定の過程を含む) 具体例をもとに, HLYR, HLV, CONTの各フィールドの入力方法について確認する.
クイズ		

平成 27 年度 目録システム講習会（雑誌）講義要領 0

「雑誌書誌登録」の構成と学習目標

節項	内容	学習目標
1節 雑誌書誌レコードの記述		
1項	記述ブロック	雑誌書誌レコードの内容と、情報源から書誌レコードの各記述要素を判断する要領を理解する。 また、NACSIS-CAT内でのリンク形成の登録作業とあわせて、提供する各データ要素の意味を理解する。
2項	コードブロック	
3項	変遷ブロック・リンクブロック	
4項	主題ブロック	
5項	その他のデータ要素	
6項	記述根拠号による記入方法の違い	
7項	まとめ	
8項	クイズ	
2節 リンク形成		
1項	所蔵リンク	
2項	著者名リンク	
3項	タイトル変遷リンク	
4項	クイズ	
3節 書誌登録の方法と注意点		
1項	タイトル変遷の基準	
2項	参照ファイルからの流用入力	
3項	総合目録データベースからの流用入力	
4項	書誌レコードの削除	
5項	報告	
6項	クイズ	

平成 27 年度 目録システム講習会（雑誌）講義要領 0

修得テストの概要

セルラーニングシステム (RENANDI) 上のテスト機能で受講者が各自で受験する。

100点満点中75点以上正解で合格である。不合格の場合は、再度受験可能である。再度挑戦した場合は、別の問題が出題されるよう、各主題3パターンずつ計75問用意している(どれか1パターンで合格すればOK)。

きちんとSL教材で学習すれば、合格できる問題である。形式は択一問題のみである。

問題番号	分野	主題
問題1	CAT/ILLとは	目録所在情報サービスおよび各サービス(NACSIS-CAT, NACSIS-ILL)についての総合問題
問題2	CAT入門	目録システム(NACSIS-CAT)の概要についての確認問題。 NACSIS-CATの特徴や品質管理のための注意点等
問題3	CAT入門	総合目録データベースのファイル構成に関する確認問題。ファイルの種類と特徴
問題4	CAT入門	雑誌業務に関係したレコード間リンクの確認問題
問題5	CAT入門	目録検索に関する総合問題。検索の仕組み・注意点等
問題6	基準-雑誌編	共有レコードと固有のレコードについての確認問題。それぞれの特徴と運用のルールについて
問題7	基準-雑誌編	図書・雑誌、和・洋の判断基準および、準拠する目録規則についての確認問題
問題8	基準-雑誌編	雑誌の書誌作成単位の基本的考え方に関する問題
問題9	基準-雑誌編	雑誌の書誌作成における「基準とする号」に関する問題。初号主義、情報源の優先順位等
問題10	基準-雑誌編	雑誌書誌レコード作成・修正・変遷のNIIへの報告義務についての確認問題
問題11	基準-雑誌編	典拠レコードおよび所蔵レコードに関する総合問題
問題12	目録検索	検索の目的と概要についての確認問題
問題13	目録検索	雑誌ファイル検索とリンク参照についての確認問題
問題14	目録検索	雑誌の同定についての確認問題
問題15	目録検索	検索用インデクス作成と検索キー照合についての確認問題
問題16	目録検索	検索上の注意点についての確認問題
問題17	目録検索	検索上の注意点(特にヨミ・分かちによって切り出された有効な検索キーについて)の確認問題

平成 27 年度 目録システム講習会（雑誌）講義要領 0

問題18	登録総論	書誌登録の各パターンについての確認問題
問題19	登録総論	書誌登録の各パターンと注意すべき点についての確認問題
問題20	登録総論	リンク形成の方法とその種類(必須・任意), 典拠ファイルの作成についての確認問題
問題21	雑誌所蔵登録	巻レベル・号レベル／巻号での絞り込み検索／VLYRとHLYR, HLVの関係についての確認問題
問題22	雑誌所蔵登録	HLYRの記入方法についての確認問題
問題23	雑誌所蔵登録	HLVの記入方法についての確認問題
問題24	雑誌所蔵登録	巻次変更についての確認問題
問題25	雑誌所蔵登録	所蔵登録・更新・削除についての総合問題